

事業番号	04 06 02	事業改善シート（令和元年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	子ども・若者育成支援事業	部局	県民文化部
		課・室	次世代サポート課
		実施期間	S28～
		E-mail	jisedai@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)			
8つの重点目標	合計特殊出生率		
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進 5-5 子ども・若者が夢を持てる社会づくり		



## 1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	<b>【現 状】</b> 子ども・若者を取り巻く環境は近年急激に変化し、子どもの性被害やいじめなどインターネット・スマートフォンに起因する青少年に関する様々な問題の発生や、ニートやひきこもりの若者の増加、また不登校、子どもの貧困、発達障がいなど、子ども・若者に関する問題が深刻化してきている。
	<b>【目指す姿】</b> 長野県の全ての子ども・若者が健やかに育つことができ、また支援を必要とする子ども・若者を支えることができる社会の実現を目指す。
	<b>【実施内容】</b> チャイルドライン推進協議会への補助、青少年問題協議会の開催、子ども・若者支援地域協議会の運営、子どもの個性を伸ばす教育研究モデル事業、将来世代応援県民会議への補助など

指標及びその達成状況 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし]						区分(単位:千円)				
No	成果指標	H29年度	H30年度	R1年度	目標値	達成状況	事業 コ ス ト	前年度繰越	H30年度	R1年度
1	チャイルドライン電話受付件数	12,056	12,821 <sup>↗</sup>	11,999 <sup>↘</sup>	現況以上(H30)	未達成		現計予算	135,561	148,504
2	子ども・若者支援地域協議会における要支援者の支援完了及び継続者の割合(%)	84	88 <sup>↗</sup>	86 <sup>↘</sup>	現況以上(H30)	未達成		合計(A)	135,561	148,504
3	助成団体における要支援者の自立の割合(%)	30	17 <sup>↘</sup>	20 <sup>↗</sup>	現況以上(H30)	達成		うち一般財源	95,717	94,019
4	地域における子どもの性被害防止のための研修会等の参加人数	6,286	6,756 <sup>↗</sup>	13,063 <sup>↗</sup>	7,000	達成		決算額(B)	130,710	138,056
5	「信州子どもカフェ」への補助箇所数	—	—	41	30箇所	達成	職員数(人)	9.7	10.0	

成果指標設定理由	<p>①「チャイルドライン」の活動を支援することにより、悩みを抱えている子どもたちが気軽に相談できる機会を提供する。</p> <p>②子ども・若者支援地域協議会の運営を通して、ニートやひきこもり等の困難を抱える子ども・若者(要支援者)に対する、関係機関の効果的な連携による支援を推進する。</p> <p>③要支援者に対して出口戦略を持って専門的に対応する民間団体を支援することにより、子ども・若者の社会的自立を目指す。</p> <p>④地域において自主的に開催される性教育、人権教育、青少年のインターネット適正利用の学びの場への参加者数を増やし、子どもの性被害等を防止する。</p> <p>⑤「信州子どもカフェ」への支援状況を評価する指標として適しているため。</p>
----------	--

達成状況の分析	<p>①チャイルドラインについては、受付件数は横ばい傾向だが、1件あたりの通話時間が長くなっている。</p> <p>②要支援者の支援完了及び継続者の割合は横ばい傾向だが、関係機関によるケース会議が増加するなど、連携が進んでいる。</p> <p>③自立支援に必要な期間が個々のケースにより異なることから、年度により実績に差が出るものの、徐々に実績を伸ばしている。</p> <p>④県内でも情報モラル教育への関心が高まり、情報モラルに関する研修会の開催数等が前年度比の2倍以上となった。</p> <p>⑤助成制度について、信州子どもカフェへ直接呼びかけるほか、追加で募集を行うことにより目標を達成できた。</p>
---------	--

主な取組	<p>✓ <b>長野県将来世代応援県民会議の取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>長野県青少年健全育成県民大会の開催 令和元年11月2日 東御市 参加者数:492人</li> <li>子どもの性被害予防のための研修会の実施 134回 13,063人</li> </ul>	 <p>活動の様子</p>	 <p>信州子どもカフェマップ</p>
	<p>✓ <b>子どもの居場所づくりの推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>信州子どもカフェの食材費などの運営費助成による取組の推進 信州子どもカフェ箇所数:82(H30)⇒117(R1)</li> <li>信州子どもカフェの所在地などが分かる信州子どもカフェマップ作成 配布部数:20,000部 配布先:県内市町村・学校・社協・信州子どもカフェほか</li> </ul> <p>✓ <b>子ども・若者支援地域協議会事業の拡充(R1～)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発達障がい等により困難を有する方々の状況に応じた相談支援の実施</li> <li>「自立」や「就労」に向けた準備のための居場所の開設 協議会事務局:県下4箇所 支援者数:183人(H30)⇒316人(R1)</li> </ul>		

## 2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> <li>発達障がい者の支援については、各年代を通して一貫した支援になることが必要だが、乳幼児期の当事者家族周辺の理解や世代、分野をまたぐ支援の引継ぎに課題がある。</li> <li>信州子どもカフェは県下117か所となり、昨年より35か所増加したが、身近な地域の居場所としてはまだ不足している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発達障がいについて、広く一般向けだけでなく、ターゲットを絞った普及啓発を行う。発達障がい者支援対策協議会において分野を超えた合同部会を開催し、支援の引継ぎ方法を整理検討する。</li> <li>信州子どもカフェの運営支援や担い手の育成等を通じて信州子どもカフェの設置を推進する。</li> </ul>

事業名	子ども・若者育成支援事業	部局	県民文化部	課・室	次世代サポート課
-----	--------------	----	-------	-----	----------

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
1	青少年の健全育成事業	19,802 千円	21,818 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	青少年問題協議会開催事業	直接	子ども・若者支援に関する総合的な計画及び、子どもを性被害から守るための取組について審議した。
2	健全な社会環境づくり事業	直接	子ども・若者育成支援推進本部による県民運動の推進や、子どもを性被害から守るための啓発物品を作成し、周知啓発を行った。
3	長野県将来世代応援県民会議（青少年育成事業）補助事業 旧：青少年育成県民会議補助事業	補助金	青少年健全育成運動を行う長野県将来世代応援県民会議に対し、補助金（青少年サポーター設置事業、子どもの性被害予防のための取組支援事業、青少年インターネット適正利用推進協議会事業など、子どもの性被害予防関係事業を含む）を交付した。 補助金交付先：長野県将来世代応援県民会議
4	チャイルドライン支援事業	補助金	18歳までの子どもがかかる相談電話「チャイルドライン」の活動を支援することで、県内の子どもたちの声に寄り添える体制の強化を図った。 補助金交付先：長野県チャイルドライン推進協議会

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
2	官民協働の子どもの居場所づくり推進事業	4,093 千円	2,698 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	信州子どもカフェの推進	補助金	信州子どもカフェや信州子どもカフェ推進地域プラットフォームの運営費を支援 信州子どもカフェ 41か所 信州子どもカフェ推進地域プラットフォーム 6か所

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
3	困難を有する子ども・若者支援事業	36,548 千円	42,991 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	子ども・若者支援地域協議会事業	委託	社会生活上の困難を有する子ども・若者への支援を円滑に行うために、子ども・若者育成支援推進法に基づく地域協議会を運営した。 委託先：(特非)待学園スクオーラ・今人ほか3団体（随意契約）
2	困難を有する子ども・若者の専門的な自立支援の場応援事業	補助金	社会生活上の困難を有する子ども・若者に対して専門的な自立支援の場を提供する団体を助成することで、県内の子ども・若者支援体制の強化を図った。 補助金交付先：(特非)待学園スクオーラ・今人ほか2団体
3	発達障がいのある子ども・若者の教育相談支援事業 (旧・子どもの個性を伸ばす教育研究モデル事業)	委託	発達障がいなど認知特性に偏りが見られる児童生徒を対象とした教育相談の支援を行った。 委託先：(特非)翔和学園
4	子どもの個性を生かす社会自立支援モデル事業	直接	発達障がい等により認知特性に偏りがある子ども・若者に対して、社会自立に向けた支援を行うとともに今後のあり方について検討した。

細事業 No.	細事業名	H30年度 決 算	R 1 年度 決 算
4	発達障がい者支援事業	70,267 千円	70,549 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	長野県発達障がいサポ-ト・マネージャー配置事業	委託	10圏域に発達障がいサポ-ト・マネージャーを配置し、一貫した支援を提供した。 委託先：(特非)ウィズハートさくほか9団体(随意契約)
2	市町村発達障がい者支援体制強化事業	委託	10圏域12名の市町村サポ-ト・コーチが、年代や分野を超えて支援者が情報を共有するツールの普及を図った。 委託先：社会医療法人恵仁会ほか11団体(随意契約)
3	発達障がい者支援センター事業	直接	発達障がいサポ-ト・マネージャーや発達障がいペアレント・メンターの養成研修に加え支援者向けの各種研修の開催等を行った。
4	地域生活支援事業費等補助金国庫返還金	直接	平成30年度国庫補助金の精算に伴う返還を行った。